

検修型制服・技術型制服のリニューアルについて

2004年10月28日

今冬の冬服への切替時に合わせて検修型制服と技術型制服がリニューアルします。
制服のリニューアルは、2002年12月1日の男性接客用制服をスタートとして、順次取組んできましたが、今回の検修型制服・技術型制服のリニューアルをもって全服種のリニューアルが完了します。

新しい制服の開発コンセプト

21世紀にふさわしく、従来の制服とは一新したものであること
社員の「さわやかな対応」を表現する制服であること
ニューフロンティア21に掲げるJR東日本のブランドイメージである「堅実」「信頼」「安心」を醸成しつつ、清潔で好感の持てる制服であること
社員にとって着てみたくなるような制服であること
検修職場の業務に適応できる機能性を備えたデザインであること
技術職場の業務に適応できる機能性を備えたデザインであること
職場の統一性を高めるため、男性と女性との調和のとれたものであること
(~ は、全ての服種に共通のコンセプトとなっています。)

新しい制服の主な着用者

【検修型制服】鉄道車両のメンテナンスや生産を担う社員など
【技術型制服】鉄道関係設備の保守を担う設備部門の社員や鉄道事業及び生活サービス事業における施設の建設・改良を担う建設工事部門の社員など

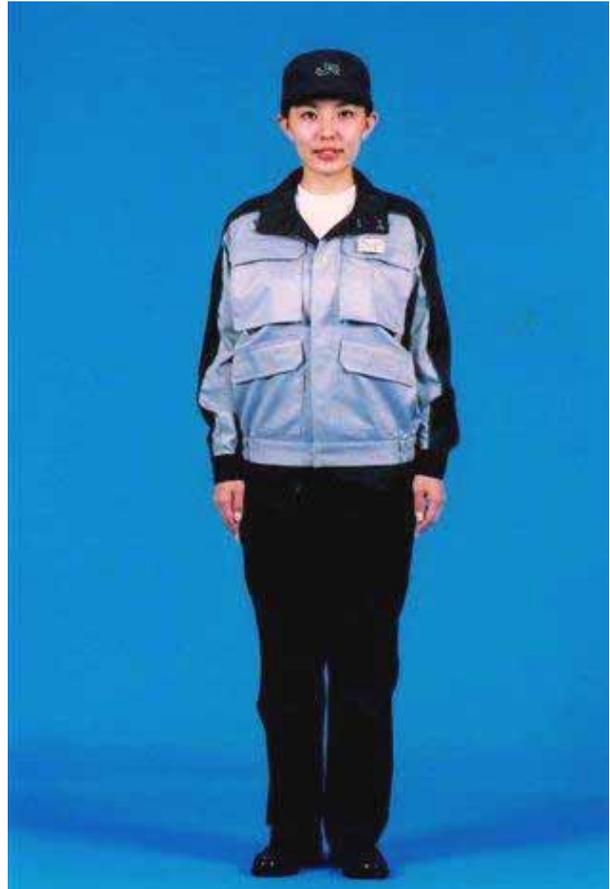
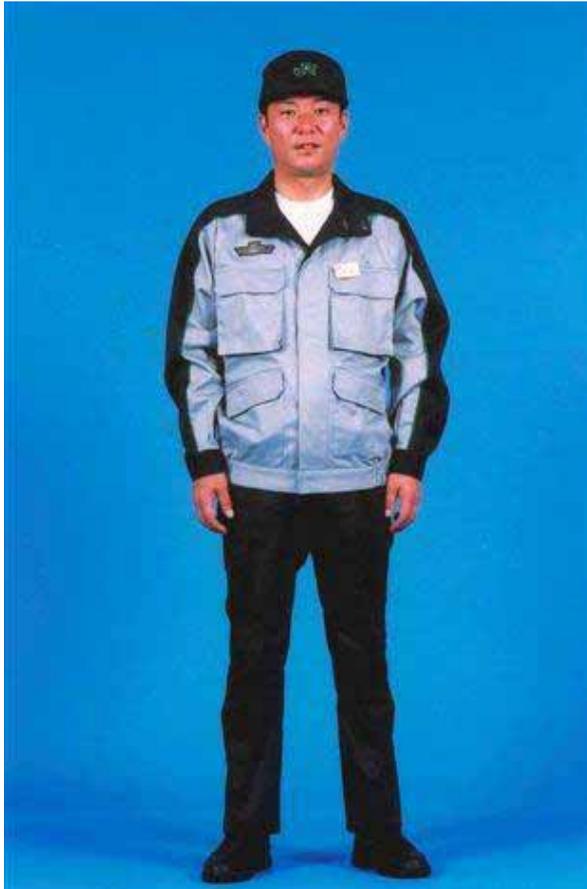
新しい制服の主な特徴[検修型制服・技術型制服共通]

制服のベースの色として、他の服種と同様にグレーを採用して統一性をもたせています。
他の服種と同様のエンブレムを上衣と盛夏シャツの胸に付けています。
(男性社員はアンティークゴールド色とし、女性社員はプラチナ色となっています。)
男性社員と女性社員ともに同じデザインを採用しています。
検修型制服では制帽、上衣及び盛夏シャツを男女同じ仕様とし、技術型制服では制帽及び上衣を男女同じ仕様として、サイズを男女対応できる幅で設定しています。
上衣とズボンはストレッチ性のある生地を採用し、上衣、ズボンと盛夏シャツの生地に静電気防止加工を施すなど機能性を高めています。

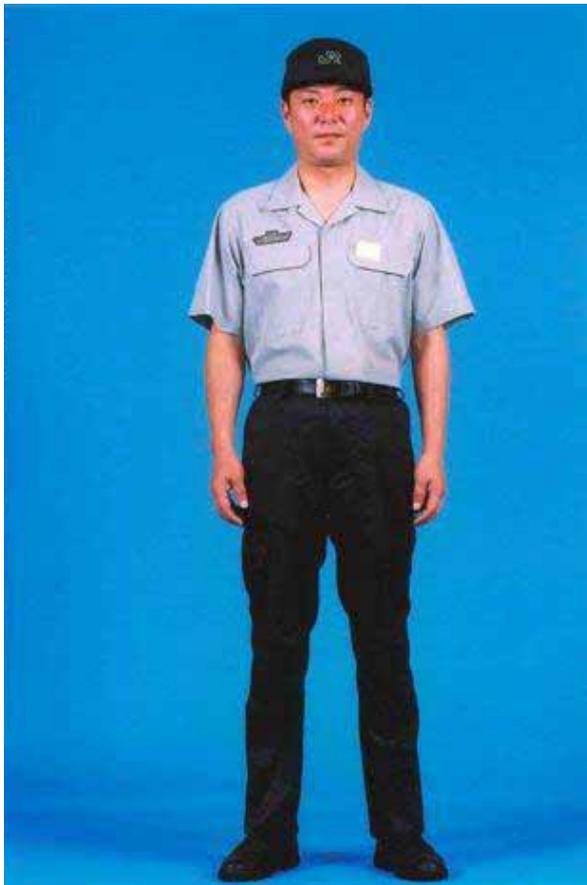
検 修 型 制 服

冬服・夏服

(冬服と夏服は、生地素材は異なりますが、同じデザインです。)



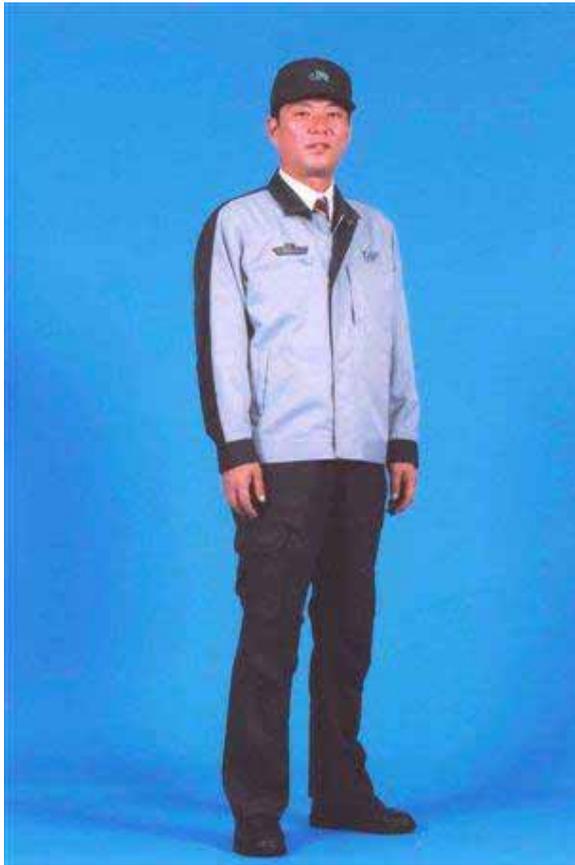
盛夏服



技術型制服

冬服・夏服

(冬服と夏服は、生地素材は異なりますが、同じデザインです。)



盛夏服

